

研究課題名 人工知能を用いた胆膵・消化管疾患に対する超音波内視鏡検査の診断能向上に向けた研究 に関する情報公開

1. 研究の対象

2001年1月以降に当院消化器内科で胆膵または消化管疾患に対して超音波内視鏡検査を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

昨今、超音波内視鏡検査の進歩は目覚ましく、画質の向上は基より、エラストグラフィ、造影、穿刺生検などの様々な新規技術が登場し、胆膵・消化管疾患の診療において欠かせない検査となっています。しかしながら超音波内視鏡は主観性の高い検査であり、術者の技術や経験によるところも大きいのが実情です。この研究は近年注目されている人工知能（AI）を用いることで本検査手技の客観性、正確性を高めることを目的としています。名古屋大学医学部附属病院において胆膵または消化管疾患に対して超音波内視鏡検査を行った症例を対象とし、電子カルテより病変の画像所見、臨床経過、血液検査、病理結果所見を含む検査データを調査します。当院で保存されている画像データを匿名化して診断を再検討します。約1000例での観察研究を行います。承認より2年間の期間を予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療内容、カルテ番号、生検や切除にて得た病理結果 等

試料：本研究は観察研究であり新たに採取する検体や試料はありません

4. 外部への試料・情報の提供

画像データは連結匿名化し、個人が特定できないような状態でパスワードロックのかかる媒体に保存します。その状態で下記の共同研究機関にてAI診断を行います。対応表は本学の研究責任者が保管・管理をします。

5. 研究組織

本研究の研究組織は以下の通りです。

名古屋大学医学部附属病院消化器内科 病院助教 石川卓哉、山村健史、澤田つな騎、前田啓子、医員 山田健太

名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学 教授 藤城光弘、講師 川嶋啓揮、宮原良二、中村正直、助教 大野栄三郎、古川和宏、医員 西尾亮・鈴木博貴・植月康太・八鹿潤・芳川昌功

名城大学電気電子工学科 教授 堀田一弘

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 消化器内科

病院助教 石川卓哉

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

Tel/Fax : 052-744-2602

研究代表者・責任者：名古屋大学医学部附属病院 消化器内科 病院助教 石川卓哉

苦情の受付先：

名古屋大学医学部経営企画課 臨床審査公正係（052-744-2061）

-----以上